

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月1日
【四半期会計期間】	第23期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
【会社名】	モーニングスター株式会社
【英訳名】	Morningstar Japan K.K.
【代表者の役職氏名】	代表取締役執行役員社長 朝倉智也
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 小川和久
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 小川和久
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第22期 第1四半期連結 累計期間	第23期 第1四半期連結 累計期間	第22期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	1,788,364	1,730,480	6,004,360
経常利益 (千円)	614,102	595,878	1,777,236
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	401,737	404,471	1,220,379
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	346,814	292,078	1,036,410
純資産額 (千円)	9,212,337	9,099,993	9,443,217
総資産額 (千円)	10,287,881	11,196,199	11,077,379
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4.87	4.88	14.74
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	89.5	80.6	84.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 当第1四半期連結累計期間の連結業績の概況

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)の連結業績は、売上高が前年同四半期(2018年4月1日～2018年6月30日)の1,788百万円から57百万円(3.2%)の減収となる1,730百万円となりました。

また、売上原価は、前年同四半期の1,020百万円から238百万円(23.4%)減少し781百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同四半期の194百万円から282百万円(145.0%)増加し476百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の573百万円から101百万円(17.7%)の減益となる472百万円となりました。

営業外損益は、前年同四半期と比べ、純額で83百万円増加し、その結果、当第1四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の614百万円から18百万円(3.0%)の減益となる595百万円となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期の401百万円から2百万円(0.7%)の増益となる404百万円となりました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第1四半期連結累計期間 2018年4月1日から 2018年6月30日まで		当第1四半期連結累計期間 2019年4月1日から 2019年6月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
サービス別売上高					
ファイナンシャル・サービス事業					
データ・ソリューション	464,951	26.0	600,044	34.7	29.1
メディア・ソリューション	317,643	17.8	221,499	12.8	30.3
計	782,595	43.8	821,544	47.5	5.0
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	1,005,769	56.2	908,936	52.5	9.6
計	1,005,769	56.2	908,936	52.5	9.6
連結売上高	1,788,364	100.0	1,730,480	100.0	3.2

#### 1) ファイナンシャル・サービス事業

##### ・データ・ソリューション

タブレットアプリの提供台数が前年同四半期の55,941台から38.8%増加し77,623台となったことなどにより、ファンドデータの売上が増加いたしました。一方、株式新聞購読料、ファンドレポートの売上が減少しました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同四半期の464百万円から135百万円(29.1%)の増収となる600百万円となりました。

##### ・メディア・ソリューション

ウェブ・コンサルティングの売上が増加したものの、投資信託の販売金融機関の広告・セミナー需要が減少いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の317百万円から96百万円(30.3%)の減収となる221百万円となりました。

#### 2) アセットマネジメント事業

##### ・アセットマネジメント

新規子会社Carret Asset Management LLCの信託報酬が新たに加わりました。一方、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するファンドの純資産額が、前年同四半期末の2,904億円から17.8%減少し2,386億円となり、投資委託者報酬が減少いたしました。その結果、アセットマネジメントの売上高は、前年同四半期の1,005百万円から96百万円(9.6%)の減収となる908百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の782百万円から39百万円(5.0%)の増収となる821百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の373百万円から7百万円(2.1%)の減益となる365百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の1,005百万円から96百万円(9.6%)の減収となる908百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の199百万円から93百万円(46.7%)の減益となる106百万円となりました。

## (2) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して118百万円増加し、11,196百万円となりました。

これは、流動資産が1,096百万円減少し、固定資産が1,214百万円増加したものであります。

流動資産の減少は、主として現金及び預金が1,406百万円減少したことによるものであります。

現金及び預金の減少は、主として配当金を621百万円支払ったこと、投資有価証券を1,118百万円購入したことによるものであります。

固定資産が前連結会計年度末と比較して1,214百万円増加したのは、主として投資有価証券に1,118百万円投資したためであります。

また、負債合計は前連結会計年度末と比較して462百万円増加し、2,096百万円となりました。

負債の増加は、主として、1,000百万円の銀行借入をしたためであります。

当第1四半期連結累計期間に404百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、621百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が217百万円減少し、4,185百万円となりました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して343百万円減少し、9,099百万円となりました。

## (3) 事業上および財務上の当社が対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	315,600,000
計	315,600,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	83,973,600	83,973,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	83,973,600	83,973,600		

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	83,973,600	-	2,115,620	-	2,506,927

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

( 6 ) 【議決権の状況】  
 【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,081,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 82,890,000	828,900	-
単元未満株式	普通株式 2,500	-	-
発行済株式総数	83,973,600	-	-
総株主の議決権	-	828,900	-

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
モーニングスター 株式会社	東京都港区六本木 一丁目6番1号	1,081,100	-	1,081,100	1.30
計		1,081,100	-	1,081,100	1.30

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,147,460	2,740,647
売掛金	1,137,767	1,425,295
たな卸資産	17,501	17,219
その他	169,770	193,248
流動資産合計	5,462,500	4,366,411
固定資産		
有形固定資産	271,993	270,762
無形固定資産		
のれん	1,262,507	1,262,661
ソフトウェア	768,153	822,936
その他	216,073	240,750
無形固定資産合計	2,246,734	2,326,348
投資その他の資産		
投資有価証券	2,845,712	3,964,544
繰延税金資産	242,165	261,836
その他	208,272	206,297
投資その他の資産合計	3,296,150	4,432,677
固定資産合計	5,614,878	6,829,788
資産合計	11,077,379	11,196,199



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	57,832	39,700
短期借入金	-	1,000,000
未払金	1,101,187	620,642
未払法人税等	318,722	182,773
未払消費税等	24,954	55,843
その他	131,463	197,245
流動負債合計	1,634,161	2,096,206
負債合計	1,634,161	2,096,206
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,115,620	2,115,620
資本剰余金	3,370,457	3,370,457
利益剰余金	4,402,481	4,185,259
自己株式	186,865	186,865
株主資本合計	9,701,693	9,484,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	348,602	453,869
為替換算調整勘定	6,727	2,324
その他の包括利益累計額合計	341,875	456,193
非支配株主持分	83,399	71,716
純資産合計	9,443,217	9,099,993
負債純資産合計	11,077,379	11,196,199

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,788,364	1,730,480
売上原価	1,020,506	781,859
売上総利益	767,857	948,621
販売費及び一般管理費	194,561	476,590
営業利益	573,296	472,031
営業外収益		
受取利息	41,095	28,838
受取配当金	30	99,033
その他	1,152	575
営業外収益合計	42,277	128,447
営業外費用		
支払利息	-	3,697
為替差損	100	339
持分法による投資損失	955	434
その他	415	128
営業外費用合計	1,471	4,599
経常利益	614,102	595,878
特別利益		
新株予約権戻入益	1,494	-
特別利益合計	1,494	-
特別損失		
事務所移転費用	2,863	-
特別損失合計	2,863	-
税金等調整前四半期純利益	612,733	595,878
法人税、住民税及び事業税	170,965	179,883
法人税等調整額	40,030	9,598
法人税等合計	210,995	189,482
四半期純利益	401,737	406,396
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	1,925
親会社株主に帰属する四半期純利益	401,737	404,471

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	401,737	406,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,922	105,266
為替換算調整勘定	-	9,052
その他の包括利益合計	54,922	114,318
四半期包括利益	346,814	292,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,814	293,139
非支配株主に係る四半期包括利益	-	1,061

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
仕掛品	1,551千円	1,724千円
貯蔵品	5,950	5,495

2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
	347,576千円	351,481千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
従業員給与	51,072千円	226,239千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
減価償却費	37,953千円	62,124千円
のれんの償却額	5,675	18,423

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2018年5月18日 取締役会	普通株式	利益剰余金	906,893	11.00	2018年3月31日	2018年6月1日

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2019年5月17日 取締役会	普通株式	利益剰余金	621,693	7.50	2019年3月31日	2019年6月3日

(セグメント情報等)  
 【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナン シャル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	782,595	1,005,769	1,788,364	-	1,788,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,907	-	7,907	7,907	-
計	790,502	1,005,769	1,796,271	7,907	1,788,364
セグメント利益	373,629	199,666	573,296	-	573,296

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナン シャル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	821,544	908,936	1,730,480	-	1,730,480
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,263	-	8,263	8,263	-
計	829,807	908,936	1,738,743	8,263	1,730,480
セグメント利益	365,686	106,344	472,031	-	472,031

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する項）

（単位：千円）

売上高	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,796,271	1,738,743
セグメント間取引消去	7,907	8,263
四半期連結損益計算書の売上高	1,788,364	1,730,480

（単位：千円）

利益	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	573,296	472,031
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	573,296	472,031

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
(1) 1株当たり四半期純利益金額	4円87銭	4円88銭
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 （千円）	401,737	404,471
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額（千円）	401,737	404,471
普通株式の期中平均株式数（株）	82,529,351	82,892,430
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 （千円）		
普通株式増加数（株）		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものではありません。		

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

2019年5月17日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行なうことを決議いたしました。

配当金の総額 621,693千円

1株当たりの金額 7.5円

支払請求の効力発生日及び支払開始日 2019年6月3日

(注) 2019年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年7月31日

モーニングスター株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小堀 一英 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 木村 尚子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているモーニングスター株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、モーニングスター株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。